

中川区要望事項・申し合わせ事項

1/4

愛知学区

1 要望事項 (令和8年度)

「地域(学区)活動のDX化推進リーダーの制度化」

「名古屋市役所DXの推進」にもとづく「行政のDX化」と「地域活動のDX化」の両輪により現在大きな課題となっている「区政協力委員制度のあり方とその業務負担軽減策について」の解決策の一つとしても検討を進める事を提案します。

令和5年にスタートした行政側のDX化は「名古屋市ホームページと広報との情報の連携」そしてユーザー視点による立った見直しによりに市民サービスレベルが大きく向上したと考えます。

しかし地域学区内では行政のDX化に対しすでにデジタルデバインドが発生しており、「地域住民のDXマインド・リテラシー向上」の指導・醸成を図るための「学区DX推進リーダー」の育成が急務であります。また、立ち上げた学区ホームを維持・管理・継続するには「情報システムの安全性と個人情報の適正な取り扱いのできる人材」の確保が必要となります。

その為には、学区内にある程度専門的に対処できる4～5名のDX化推進リーダーの選任・配置が必須であり、「身分・職務及び任期・報酬」を明確にし、委嘱状を交付する制度化を図り、「デジタル人材」の育成・配置により行政のDX化に劣らない地域住民のDX化推進を加速すべきと考えます。特に、若い人にとっては公的な委嘱により、参加するインセンティブが上がると考えます。「地域活動のDX推進リーダーの制度化」を早急に実現して頂きたいと再度要望致します

2

名古屋市高速道路黄金インター出入道路と交差する「運河通3丁目交差点信号機を歩車分離方式とする。」黄金インター出入車両が運河通3丁目交差点にて、右折&左折によりインター出入道路へ通行し、横断歩道にて歩行者と交差し、歩行者と運転手が目視確認しながら通行する状況にあり極めて危険である。信号機付き交差点内でありながら、信号表示通りにもかかわらず危険で安心して通行できない。早急に横断歩行者と右左折車両との完全分離信号方式への変更を要望します。過去に歩行者と自動車との接触事故及び右折車両間の追突事故も多々発生しています。すでに令和5年6年&7年度に中川警察署交通課交通規制係へ要望書を提出しています。

日本の交差点では、毎年全交通事故の40%以上が発生しています、歩行者はその危険な交差点で自らの身を守るため青信号の横断歩道を選んで渡ります。本運河通り3丁目交差点は高速道路へ出入する車の100%が右左折車です、青信号の右左折車両と青信号の歩行者&自転車が横断歩道上で交差し、青信号でもあるにもかかわらず双方が目視にて安全を確認し通行している状況です。歩行者の安全を右左折してくる不確実な人間(車の運転者)の注意力のみにたよる大変危険な交差点であります、交差点での死傷者事故は「青信号歩行者&自転車」と「右左折自動車」による巻き込み事故がもっとも多発している事は周知の統計的事実です。

それにもかかわらず、昨年度も中川警察署の回答書は「歩行者の安全な横断歩道の通行より通行車両の渋滞が悪化し交差点が機能しなくなる恐れがある。」との回答であり「道路交通法第1条 道路における危険を防止し、その他交通の安全と円滑を図り、及び・・・。」
道路における危険の防止よりも、交通の安全と円滑を優先しているとしか考えられません。
尚、名古屋高速道路公社及び中川土木事務所より、高速道路出口より運河通り交差点への侵入自動車運転者への注意喚起看板「交差点右折時 歩行者注意」を設置頂けることになりました。御礼申し上げます。

3

中川消防署日置出張所の前に「押しボタン式信号機付横断歩道」の設置
該当箇所は押しボタン信号機の設置には適さない場所との回答がありましたが、明石通りは運河通&五月通りと同じ6車線道路であります、通行車両も極めて少なく、定周期信号とする必要はないと考えます、通行量も考慮せず地図上でみた6車線道路であり押しボタン信号機が適さないと言えるのでしょうか。また、警察としては、「横断歩道や押しボタン式信号機の設置が事故の危険性を高めることは避けなければならない」との回答がありましたが、当然の考えと理解致しますが交通標識・道路標示で指示・規制のされていない危険で交通事故の発生が予測される個所については、警察署はどのように処置をお考えでしょうか？ 危険であれば、既存の設置済の信号機の廃止をする方針を明確にして頂きたいと要望致します。

明石通り&中京通りの中央分離帯の植栽が枯れた場所及び柵が壊れた場所の通行遮断柵の

補修を多く実施して頂きました有難う御座いました。

4

愛知小学校通学路安全対策:令和8年度通学路安全対策要望事項として7項目について 愛知小学校より教育委員会へ提出しています。 前年度は通学路色別表示をはじめとした、通学路指定道路についての多くの安全対策を実施して頂き有難う御座いました。

本年度は通学児童が少数ではありますが、トラック等大型自動車の通行も多く極めて危険な通学路である黄金跨線橋下の三ツ池町交差点西側横断歩道周辺の安全対策を要望しています。歩道と車道の境界安全柵の設置とトラック等運転手への注意喚起としての通学路色別表示により事故発生の未然防止を図りたく宜しくお願い致します。尚、中川土木事務所の担当責任者に面談し詳細説明させて頂きました。

5

福住町通りの「ゾーン30プラス」として設定化

福住町通りの車両交通量が非常に多く危険である。特に朝夕の通学時に**東側（中京通り方面）から西側（運河通方面）**への抜け道に利用する自動車が相当な速度で走り抜ける。

安全対策として通学路の標識・道路標示等による明示化により運転者への注意喚起を促すことが必要と考えます。特に**福住町6-12辺りから6-4**にかけては小さな子どもや高齢者が多い場所でもあり。生活道路であり一方通行にすることも難しく、せめてここに**色別表示・徐行・通学路につき警戒など標識の設置**を切に要望します。令和8年度より生活道路は最高速度30km/hの**区域規制ゾーン**になると聞いております、子どもや高齢者が犠牲になるような痛ましい交通事故を起こさないためにも未然に防止策を講ずる必要があると考え、自治会住民多数の賛同を得て要望します。尚、車道幅員別の歩行者・自転車乗車中の死傷者の割合は5.5M以上の道路と比べて5.5M未満の道路が約1.7倍とのデータがあります。

最高速度 30KM/hの区域規制と物理的なデバイスの設置、歩行者空間の確保・明示・各種交通規制の実施、信号機の設置等を含めた「ゾーン30プラス」の設定を要望致します。以上、ご検討宜しくお願い致します。



運河通り～福住町西への通りには標識あり、車は速度を落とし運転

側道白線なし



上記の福住町東から運河通りに向かう通りには標識無、中京通りからの抜け道として

車が速度を落とさず通過

付!

運河通 3 交差点 注意喚起看板の設置

対策案

設置箇所①



遠景



近景 板サイズ 450×1600

設置箇所②



遠景



近景 板サイズ 450×1600
基礎サイズ 約700角

対策箇所位置図



地理院地図より引用